

50代～80代の ライフプランニング

ファイナンシャルプランニング_14
ー健康保険と医療保険④ー

2024.9.19

小川FP・行政書士事務所
あいちライフサイクルマナー
小川 佳宏

50代－80代~で特に重要ないくつかのことって何だろう？

- 1 今までのキャリアの棚卸をしていつまで就労するか考えていますか？
- 2 公的年金の受給方法と社会保険の壁を知っていますか？
- 3 今、入っている生命保険や医療保険を知っていますか？
- 4 住宅の購入、買い替えを検討していますか？
- 5 自分の資産運用について考えて実行していますか？
- 6 将来、できるだけ介護のお世話にならないように気を付けていますか？
- 7 相続の準備や遺言書は書いていますか？
- 8 さあ、家計や人生の棚卸をして人生100年時代を楽しく準備しましょう。

リタイアメント
ライフプランニング
(※)

※50代でリタイアメントするという意味ではなく、役職定年、定年、第二定年と就労関係のイベントがきますので、早めに意識、準備していく必要があるということです。

健康保険と医療保険④

最近、がん保険のTVコマーシャルを結構みるけど、がんだけの保険っているのかな。



そこは、公的医療保険の3割負担⇒高額療養費制度⇒医療保険⇒がん保険の必要性で、保険料と保険内容で個別に検討が必要じゃないかしら。



昔から大きな病気はほとんどしたことがなかったんだよね、健康だけが自慢。



奥様はさすが冷静なご意見ですね。その通りだと思います。民間の医療保険の所でもお話ししましたが、日本の公的医療保険は非常にいい制度なので、ある程度、蓄えがあれば民間の医療保険はいらないとも言えます。



でも、がん保険はがんに特化した保険なのでニーズのある人はいますよね。



それもおっしゃる通りですね。がんは国民の2人に1人が罹患するそうです。発見が遅れると軽度から重度にステージが移行するので治療費もかさみます。公的保険でカバーされない先進医療もあるので、いざという時にお金の心配をせずに治療できたらいいですね。



健康保険と医療保険④

昔のがん保険と今のがん保険って変化してきているらしいですね。私もTVで嵐の桜井くんが何か時代に合わせたがん保険に切り替えていくようなこと言ってたわね。



はい、TVもよくご覧になっているのですね。今はだんだん入院日数が短くなってきているので通院をベースにした保障内容に変わってきているのですね。



そうだな。昔に比べてがんの治療法も発達してきているので、診断一時金や通院給付や先進医療特約などがベースにある方がいいかもね。もちろん入院給付金も必要だけど。



そうだと思います。がん保険も保険内容、保険期間（有期か終身か）、保険料払込期間、累計保険料払込料をしっかりと検討してください。



そうですね。近くの保険ショップやインターネットでもランキング検索できるのでちょっと調べてみます。



はい、そうしてください。その前のがんは生活習慣病ですので、かからない予防が大切です。今後の健康づくりには十分と注意して下さいね。



本日、是非、知っていただきたいこと

- ✓ 公的医療保険でカバーされる範囲、がん保険でカバーされる付保内容と保険料とのコスパを検討してから契約しましょう。
- ✓ 昔のがん保険と今のがん保険で、付保内容が不十分なら新しいがん保険を検討します。今の時代は入院給付金より診断一時金や通院給付金のがニーズにあっているとも言えます。
- ✓ 付保内容、保険期間、保険料払込期間、保険料払込総額をじっくりと検討してから契約をします。

がん保険 ～保険対象費用とそれ以外の費用～

案外、病院に支払う医療費以外の出費が多いかもしれません。治療初年度は50～100万円程度は準備しておくといでしょう。収入の減少に備えるには生活費3～6月程度さらに準備しておく安心です。

公的保
険適用

1. 病院に支払う医療費

検査、診察、薬剤、入院料など

公的保
険適用
外

2. 病院に支払うその他の費用

差額ベッド代、食事代（自己負担分）、先進医療など

3. 病院以外に支払うその他の費用

交通費、宿泊費、日用品、健康食品、医療用かつらなど

出所：日本経済新聞2024.2.7から筆者一部加筆

がん保険 ～対応できる制度～

がんに備える社会保障制度や民間保険制度を知って焦らず賢く対応しましょう。

社会保障制度で対応できること

種類		内容	手続先
医療 保険	健康保険 国民健康保険	3割負担(1~3割)	加入している 医療保険
	高額医療費	高額の場合、所得水準で自己負担抑制	
	傷病手当金	休業、減額 (最長1年6月、国民健康保険にはなし)	
年金	障害基礎年金	病気やケガによって一定の障害状態になった時に受け取れる (がんはハードル高い)	年金事務所 市区町村
	障害厚生年金		

民間保険で対応できること

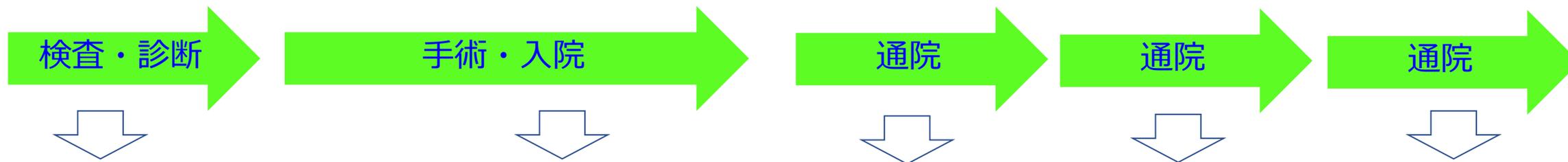
保険種類	一般的な特徴など
医療保険	がんのみならず、幅広い病気やケガの入院、手術費用を保障する。 入院しない治療は対応していない
がん保険	がんに特化して保障する。医療保険より保険料は割安になる。 入院手術をせず、通院だけで抗がん剤や放射線治療をする場合必要となる（医療保険の特約でもよい）
所得補償保険 (損保)	働けなくなった場合の収入減を復職までカバーするが、期間は1~2年程度

出所：日本経済新聞2024.2.14から筆者一部加筆

がん保険 ～昔のガン保険と今のガン保険～

昔、ガン保険に入った人は必要な内容になっているか確認して必要なら変更しましょう。

入院期間の短縮により、通院型が増えている



診断一時金
・使い道自由

3大治療
(手術、放射線、抗がん剤)

治療給付金
・高額医療費でも自己負担となる金額が理想
・保険料との兼ね合い
・10万円/月が多い

最低限確認すること

- ・保険料
 - ・保険期間と保険料払い込み期間（終身、有期）
 - ・付保内容（3大治療＋自由診療有無など）
- 累積の保険料総額 v.s. 安心度合 で判断する。（保険の価値は主観的なもの）

出所：2023.11.11 日経新聞から筆者一加筆修正

がん保険 ～昔のガン保険と今のガン保険～

昔、がん保険に加入した人は給付内容が適切かどうか検討し切り替えを検討するとよいです。

項目	昔のがん保険
給付内容	一時金、入院給付金終身
診断給付金（初回）	診断確定 + 入院要件有
診断給付金（2回目以降）	複数回受け取れないこともある
上皮内がんへの対応	なし
入金給付金	あり
通院給付金	なし、又は要件あり（一定日数の入院後の通院を保障）
自由診療	なし
先進医療（※）	なし
その他	—



現在のがん保険
一時金 と 治療費重視 、併用
診断確定で給付
診断確定、入金、通院、在宅医療、再発・転移等の要件有
あり
あり
要件なし （退院後の通院や入院の有無を問わない）
あり
あり
収入減少の補償、付帯サービス、がんリスク保険検査等

（※）先進医療は公的医療保険を適用するかどうかを厚生省が評価中の治療技術のことで、保険治療と併用が可能で、全額自己負担は先進医療部分のみ。先進医療になるのは医師が必要と認める場合のみで、民間保険の先進医療特約の給付金が払われる確率は高くない。

がん保険 ～がん保険を選択するポイント～

がん保険ランキングから選択し比較検討するとよいでしょう。

がん保険は契約後90日経過後に保障が開始され、90日以内にがんと診断されれば保険契約は無効になります。

診断一時金（再発、移転）

検討ポイント例

✓再発が心配なら何回でも受け取れるものを選びます。

治療給付金（自由診療は？）

✓自由診療は公的医療保険の範囲外なので10割負担になります。

入院・手術保障

✓がん以外の入院・手術の保障をつけたいなら医療保険がよいでしょう。

先進医療特約

✓「先進医療特約」と「保険料払込免除特約」は比較的少額で付加でき付帯するのがよいでしょう。

保険料払込免除

✓がん保険は、がんに特化した保険であるため、生命保険や医療保険と比べても保険料は比較的安いと言えます。

利用者の評判

✓保険料を節約するには、**医療保険にがん治療に関する特約**をセットすることも検討します。

✓契約内容がそぐわない場合は、**内容更新**をします。例えば入院が14日以上が前提の通院保障は、入院期間の短縮とともに時代に合わなくなってきました。

がん保険 ～事例～

がん保険も高額な買い物なので、必要な保障で見積もりを取りましょう。

保険料振替月払、無配当、平成30年契約（契約後90日経過しないと効力がありません）

保険事由	給付金名	支給金額
がんと診断確定されたとき	がん診断給付金	200万円 (複数回可、2年に1回限度)
がんにより入院したとき	がん入院給付金	2万円/日 (支払限度日数なし)
がんにより所定の手術を受けたとき	がん手術給付金	40万円 (手術の種類によって 入院日額の倍数)
がんにより外来で治療を受けたとき	がん外来治療給付金	2万円/日

終身保障、有期（60歳満了）払込タイプ、30歳契約

- ・ 男性 10,000円*12月*30年 = **360万円**
- ・ 女性 9,600円*12月*30年 = **345万円**

終身保障、終身払込タイプ、30歳契約

- ・ 男性 6,300円*12月*52年 = **393万円**
- ・ 女性 6,200円*12月*57年 = **424万円**

(平均余命までとして計算)

出所：生命保険文化センター 「医療保障ガイド」 2022年10月版より筆者加工

Thinking time !

がん保険の必要性を検討します。

がん保険の内容

- ・がん保険に期待することは何ですか。
- ・保険でカバーしてほしい範囲は何ですか。（一時金、入院、通院、先進治療など）



日頃の健康維持

- ・がんは生活習慣病と言われます。ならないように日頃、きを付けていることは何でしょうか。

業務範囲 ～当事務所で取扱相談範囲について～

● 個人のお客様のご相談

◆ ライフプランニング

お金の将来を見えるようにします

◆ 贈与・相続支援

ご家族の誰にもご納得いただけるようなプランニングをします

◆ 任意後見・家族信託

移行型任意後見契約や家族信託の利用をご支援します

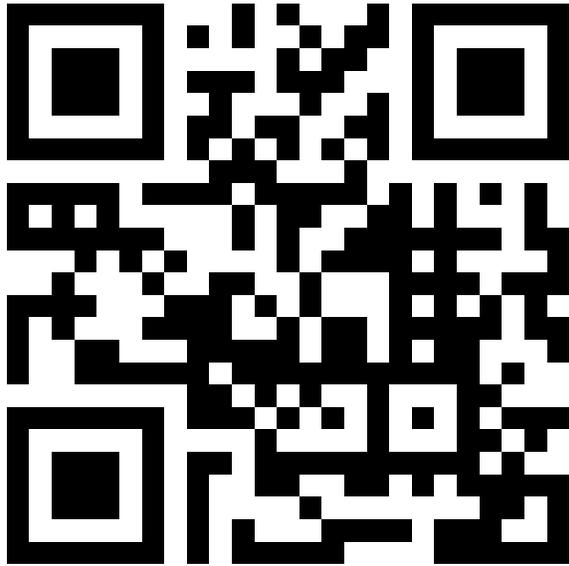
● 各種セミナー

◆ 世代別セミナー

◆ テーマ別セミナー

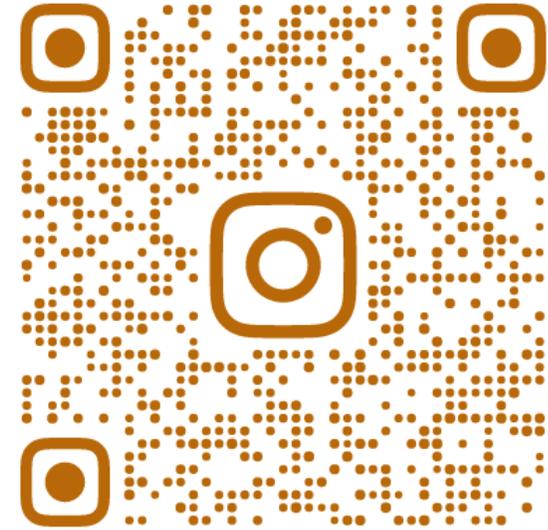
詳細はホームページとインスタをご覧ください

ホームページ



<https://www.fp-aichi-lcm.jp>

インスタグラム



@FP_YOSHISAN